

大和川流域LETTER

令和5年9月号

大和川河川事務所の事業や取り組み状況をお知らせします



【流域治水って知ってますか】

- ・大和川では遊水地整備や河道掘削、高規格堤防整備などの河川事業を進めていますが、完成には時間がかかります。
- ・全国で水災害が頻発し、毎年のように被害が発生しているため、河川事業だけではなく、上流の山側や下流の氾濫地域において、都市計画や下水道、民間企業などあらゆる関係者が協働して水災害対策を実施することが流域治水となります。
- ・大和川流域では、中上流の自治体による貯留施設の整備やため池の治水活用、企業の開発に伴う調整池整備などが進められていますが、さらに被害を減少させるための、土地利用規制なども進めていきます。



集水域における対策

雨水浸透施設の整備やため池等の治水利用

河川区域における対策

ダムの事前放流や遊水地整備・河道掘削、粘り強い堤防整備

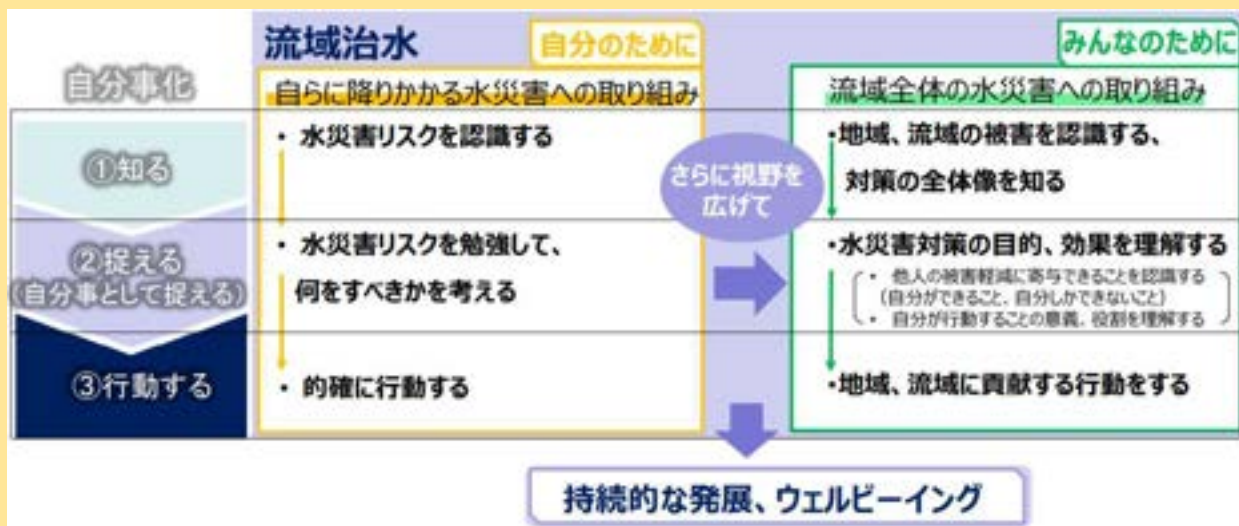
氾濫域における対策

土地利用規制、水害リスクの情報提供、住まい方の工夫、避難体制の強化

これらの対策に加え、各個人での雨水タンクによる貯留や企業のBCPなど自分たちでできる対策もあります。

国交省では、水災害を自分事化し、総力を挙げて流域治水に取り組んでいます

- ・流域治水は行政だけでは進みません。上下流・左右岸の流域の皆さんの協力が必要となります。
- ・住民の皆様や企業などが自らの水災害リスクを認識し、水災害を自分事として捉え、主体的に行動していただくとともに、さらに視野を広げて、流域全体の被害や水災害対策の全体像を認識し、流域治水の取り組みとして、協力・推進していきます。



大和川でも流域治水をさらに自分事として知ってもらうため、キャッチフレーズやグッズを作成中です！

大和川の河川整備状況



【今月のコラム】 大和川はどんな流域か知っていますか。

- ・大和川は全国の109の一級水系の中で**64番目の大きさの流域**となりますが、大阪、奈良の都市部を流れる河川であり、流域内の人口は、**全国でも8番目の流域**となります。
- ・このため、近畿の大河川の淀川と同じレベルの治水安全度を確保するための河川改修を進めています。

○大和川のデータ

・大和川の延長 68km

⇒全国109水系で76番目、最長は信濃川367km

・大和川の流域面積は1070km²

⇒東京ドーム2万個もしくは奈良県の1/3、大阪府の2/3

・大和川の流域内人口は215万人

⇒奈良県132万人より多く、京都府258万人より小さい

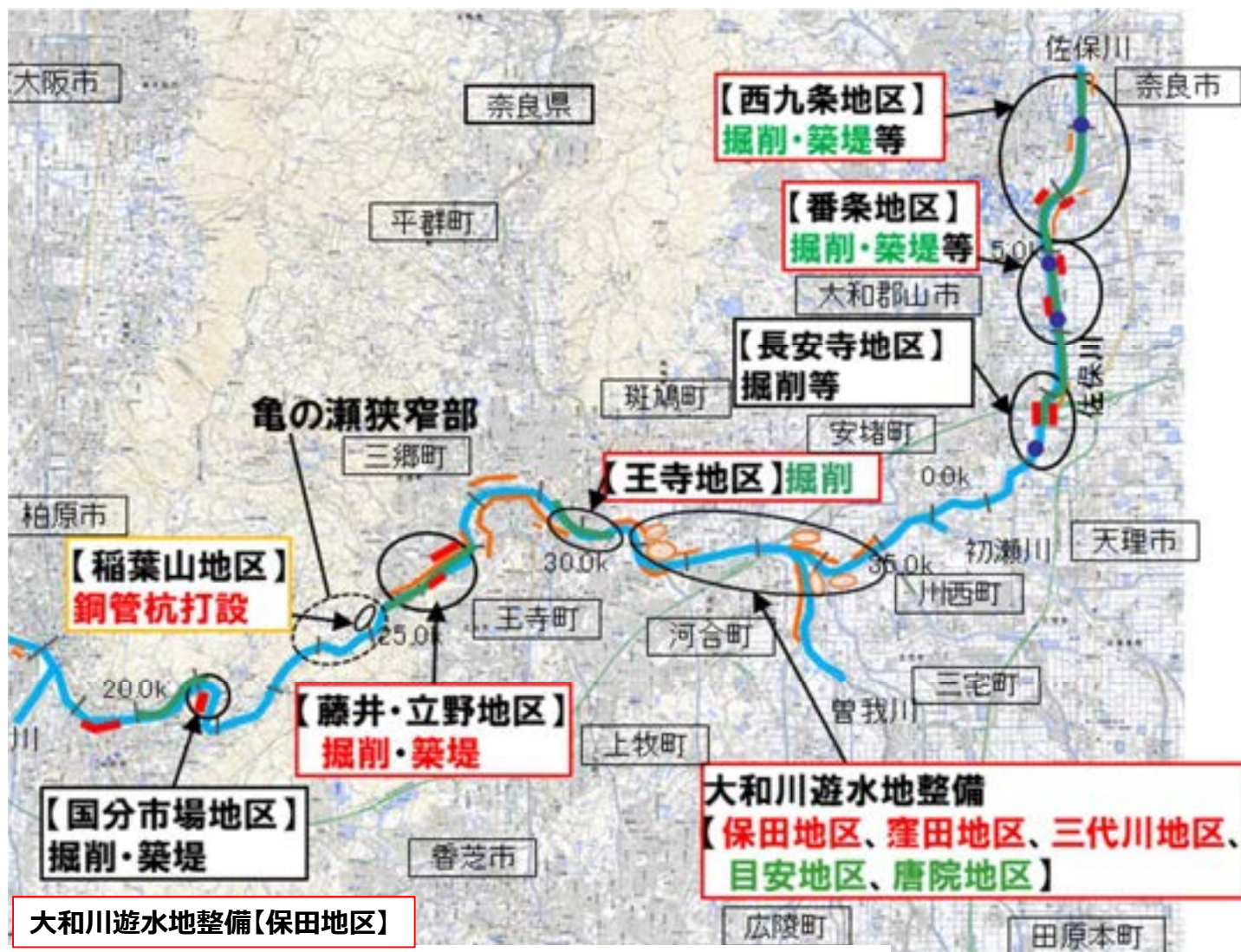
・大和川の高低差 475m

⇒大和川の周辺の山は東京スカイツリー634mよりも低い

・大和川の流域内市町村数 38市町村

⇒奈良県の市町村数39と同等。隣の淀川は75市町村。





大和川遊水地整備【保田地区】

・大和川の水位低下及び遊水地周辺の内水対策となる遊水地を整備中。
 （R6完成予定）遊水地の掘削が進み、一部箇所では遊水地の最終底面高に近い高さまで掘削が完了しています。



遊水地内の掘削状況



遊水地内の掘削状況

大和川遊水地整備【窪田地区】

・遊水地の掘削工事を進め、工事中でも内水被害を軽減するための工事を進めています。場所によっては1mの掘削が完了しています。



岡崎川沿いの擁壁工事着手



遊水地内の掘削状況

【藤井・立野地区】

・6月2日洪水でもJR軌道敷に氾濫したため、堤防整備を進めています。

台風に備えた土嚢の設置



堤防整備の実施状況



大和川河川事務所の事業や取り組み状況をお知らせします

大和川河川事務所 わくわく広場の開催

- ・大和川河川事務所では、8月に3回目のわくわく広場を開催しました。
- ・わくわく広場は、「大和川水辺の活動支援等業務」として、大和川市民ネットワークさんに委託しており、今回は子供たちが大和川に入り、川の観察・遊ぶ会の開催を行いました。
- ・子供たちが水生生物を捕まえ、投網でもアユも捕獲し、水質が大きく改善されていること、大和川でも水遊びができることを確認しました。



事務所前の大和川で捕獲されたアユ



事務所前でのにぎわい



サイクルスタンドもあります

次回は、9月17日に開催！ 柏原堰堤の魚道の探検会があるよ

アユが奈良県域まで遡上しています

- ・大和川河川事務所では、平成17年にアユが遡上していることを確認し、これまで4,5月にアユの遡上調査を行っており、今年度は佐保川合流部まで、アユが遡上していることを確認しました。
- ・引き続き、アユやオイカワなどが生息できる水質を維持、さらに改善するため、地域の皆さんも食べ残しを流さないようにすることや、昆虫のためにもゴミのポイ捨てなどをやめましょう。



大和川河川愛護モニターからの報告

- ・大和川で選出した8名の河川愛護モニター（河川環境や河川の状況に関して、日常知り得た情報を河川管理者に提供し、河川行政に関する住民モニター制度）からの報告案件を紹介します。



アユの遡上状況

○日時：令和5年7月24日（月）午前11時頃

○場所：大阪市住之江区新北島2丁目地先
（大和川右岸2.4km付近）

○内容：川の中にショベルカー？！

なぜ？！と気になり作業員の方に聞いてみました！なんと台風でとんでもない量の砂が流れてきてしまったのでショベルカーで集めて取り除いているそうです。次の台風が来たときに数年前のような氾濫が起きないようにと猛暑の中がんばってくれてました！私たちの知らなところで地域の安全のために頑張ってくれていることに感謝した朝でした。